**「地域福祉活動計画Ⅴ」の策定にご意見をお寄せください**

　本会では、平成１０年に「地域福祉活動計画Ⅰ」を策定し、５年ごとに見直してきました。

前期「地域福祉活動計画Ⅳ」の基本理念「あの人の幸せを　私の幸せに」のもと、支援を提供する側と支援を受ける側の垣根を越え、支援の過程で得たつながりや生きがいを「幸せ」に感じる温かい心が地域に広がるよう願い、各種福祉活動・事業を進めてきたところです。

　少子高齢化や人口減少、さらには福祉課題の複雑化や個別化により社会環境も大きく変容する中、制度・施策も大規模な転換期を迎えており、地域福祉活動においても結局のところ、顔が見え・手の届く範囲での助けあいが最も重要視されてきています。

　今回の「地域福祉活動計画Ⅴ」では、より身近な地域でそこに暮らす住民の皆さんご自身が同じ目標に向かって、できる役割を分担し、併せて専門職と連携、制度を活用しながら、ともに支えあう仕組みを創造するための計画として位置づけています。

　これまで３回の策定委員会での協議や、校区社協関係者の皆様をはじめ、福祉関係団体の皆様のご協力をいただき、聞き取りやアンケートを実施し、原案を作成いたしました。

　つきましては、計画原案をお示ししますので、ご意見やご感想などをお寄せいただければ幸いです。

　お寄せいただいたご意見等は、今後の計画策定に向けた協議の参考として活用させていただきます。

　皆様方のご協力をお願い申し上げます。

１．募集期間：平成３０年１月１９日(金)まで

２．送信先　：城陽市社会福祉協議会　地域福祉係

TEL：５６－０９０９　　FAX：５６－２８００

e-mail：tiiki@jyoshakyo.or.jp

地域福祉活動計画Ⅴ　原案に対するご意見記入用紙

ＦＡＸ：５６－２８００

基本理念・・・　　あの人の幸せを　私の幸せに

|  |  |
| --- | --- |
| 基本目標（一緒に目指す） | 実施計画（一緒にやる） |
| １．身近な地域のつながりを強めるネットワークづくり（つながる） | ①みんなが参加できるいろんなきっかけづくり |
| ②団体同士が協働する地域ぐるみの体制づくり |
| ２．安心して気軽に集まれる地域の居場所づくり（あつまる） | ③いつでも集まれる地域の活動拠点づくり |
| ④孤立をしないための集まりの場づくり |
| ３．何でも話せる地域の窓口づくり（はなせる） | ⑤いろんな悩みが打ち明けられる信頼関係づくり |
| ⑥困りごとを手助けにつなげる流れづくり |
| ４．暮らしを支える仕組みづくり（ささえる） | ⑦専門職と企業もお手伝いする支えあいの関係づくり |
| ⑧地域のみんなで考える助けあいの活動探し |
| ５．一人ひとりの思いを叶える仲間づくり（かなえる） | ⑨多世代で取り組むボランティア活動の推進 |
| ⑩お互いを尊重しあえるサービスとサポートづくり |
| ６．いつも頼りにされる組織づくり（たよれる） | ⑪活動をサポートする人・物・金・情報の確保 |
| ⑫災害時に助けあえる日頃のつながりづくり |

【ご意見記入欄】

１．基本理念について（サブタイトル案もあれば併せて）

２．基本目標について

３．実施計画について（詳細資料・・・別添「取り組む活動（例）」を参照）

発信元（所属：　　　　　　　　氏名：　　　　　　　　）

基本理念・・・　　あの人の幸せを　私の幸せに

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 基本目標（一緒に目指す） | 実施計画（一緒にやる） | 取り組む活動（例） |
| １．身近な地域のつながりを強めるネットワークづくり（つながる） | ①みんなが参加できるいろんなきっかけづくり | 1.～多世代・他業種・他分野でタイアップ～　「福祉と○○」イベントで交流 |
| 2.地域のみんなで健康料理教室 |
| 3.校区内・自治会内行事はお互いさまでお手伝い（運動会・地蔵盆・防災訓練…） |
| 4.“お客さんから活動者に”　イベントごとに“具体的な”ボランティア募集 |
| ②団体同士が協働する地域ぐるみの体制づくり | 5.愛着と誇りが持てる地域を目指して「校区別地域福祉活動推進計画」づくり |
| 6.団体協働で「見守り活動」「あいさつ運動」をする気運づくり |
| 7.地域のいろんな情報を持ち寄る「暮らしの便利マップ」づくり |
| ２．安心して気軽に集まれる地域の居場所づくり（あつまる） | ③いつでも集まれる地域の活動拠点づくり | 8.いろんなふれあいサロン（高齢・障がい・子育ても一緒に…） |
| 9.いつでも誰でも便利に使える拠点の活用法（地域のランドマークに…） |
| 10.技術・知恵・一芸・趣味…情報を拠点に集めて活かす機能の向上 |
| ④孤立をしないための集まりの場づくり | 11.「毎週サロン」「毎日健康体操」…定期的に集まる場づくり強化 |
| 12.高齢・介護問題だけじゃない地域のお悩み共有の話しあい（障がい・子育て・虐待・貧困…） |
| ３．何でも話せる地域の窓口づくり（はなせる） | ⑤いろんな悩みが打ち明けられる信頼関係づくり | 13.拠点を活かした専門職の出張相談窓口の設置 |
| 14.活動者も悩みや本音が言えてリフレッシュできる座談会 |
| ⑥困りごとを手助けにつなげる流れづくり | 15.「募集⇒登録⇒ルール化⇒受付⇒活動」を地域でつくる専門職も伴走サポート |
| 16.地域の窓口とボランティア・サービス・専門機関がつながる“ほっとライン” |
| ４．暮らしを支える仕組みづくり（ささえる） | ⑦専門職と企業もお手伝いする支えあいの関係づくり | 17.団体と専門職で「地域ケア会議」を発展させた助けあいの関係づくり |
| 18.「専門職に助けて」「福祉施設・企業に応援して」を形に変える話しあい |
| 19.地域も施設も企業もみんなにメリットあるお互いのＰＲ |
| ⑧地域のみんなで考える助けあいの活動探し | 20.暮らしの悩みを共有する聞き取りとアンケート |
| 21.先進的な助けあい活動の視察と地域団体の“強み”集め |
| 22.ゴミ出し・買い物・庭の片付け・電球交換…ちょっとした手助けの募集 |
| ５．一人ひとりの思いを叶える仲間づくり（かなえる） | ⑨多世代で取り組むボランティア活動の推進 | 23.「誰でもできるボランティア」と「みんなでやるボランティア」の普及 |
| 24.「教育＋ボランティア」を続けて広げて定着させるイベント・学習 |
| 25.福祉活動・市民活動・趣味活動…まずは得意分野で活躍できる入口支援 |
| ⑩お互いを尊重しあえるサービスとサポートづくり | 26.生活の権利を守るサービス活用と担い手協力（福祉サービス利用援助＆生活支援員、成年後見＆市民後見人…） |
| 27.困りごとを“緩和”する　　住民参加型支えあいサービスの拡充 |
| ６．いつも頼りにされる組織づくり（たよれる） | ⑪活動をサポートする人・物・金・情報の確保 | 28.販売・有償活動・民間補助で生みだす自前の活動資金づくり |
| 29.社会福祉法人や企業の社会貢献活動と協働して地域福祉の資源確保 |
| 30.ボランティアする人と団体をサポートする地域福祉スタッフの配置 |
| ⑫災害時に助けあえる日頃のつながりづくり | 31.あらゆる場面を想定した災害訓練と学習会の継続 |
| 32.自分のまちを歩いて点検・マップで共有 |
| 33.～まずは顔つなぎ～　要配慮者への定期的な見守り活動 |
| 34.災害ボランティアセンターと一緒に考える災害時連携 |